

保護者の皆様

高槻市立三箇牧認定こども園

令和7年度 三箇牧認定こども園教育自己診断について

保護者の皆様には、平素より本園の教育・保育活動に温かいご理解とご支援ご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

また、令和7年度の教育アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

下記の通り、アンケートの結果を皆様にご報告申し上げますとともに、職員一同、結果を真摯に受け止め、今後の本園の教育・保育活動がより一層充実するよう、努めてまいります。

どうぞ、今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【本園の教育目標】

《 温かな心と健やかな体をもつ子どもを育てる 》

【めざす子ども像】

- *健康で安全な行動がとれる子ども
- *基本的な生活習慣を身に付けた子ども
- *意欲的に活動する子ども
- *友達を大切にし、温かい心をもつ子ども

*調査人数 53名 (3歳児 16名 4歳児18名 5歳児19名)

*回収数 52名 (回収率 98%)

アンケート結果からの考察

【お子さんは】の項目について

アンケート評価の視点で、「思う」「ややそう思う」を肯定的評価とすると、肯定的回答の平均は、96%となりました。

① 『こども園に行くことを楽しんでいる』の問いに対しては、子どもたちが園生活を楽しみにしていることがわかり嬉しく思います。これからも子どもたちみんなが登園を楽しみにできるような園づくりに努めてまいります。

② 『自分のことを自分でしようとするが増えてきた』、④『必要な時「ありがとう」「ごめんなさい」を言おうとするようになってきた』につきましても、肯定的な回答が殆どでした。「ありがとう」や「ごめんなさい」というこの言葉は、友達との関わりの中で、自分の気持ちを伝える大切な言葉です。これからも素直に相手に伝えられるよう、園生活を通して知らせていきたいと思えます。

気になりますのは、問い⑤『して良いこと・悪いことを考えて行動しようとするようになってきた』と、⑥『約束を守って遊ぼうとするようになってきた』に対して、「そう思わない」との回答があることです。特に⑥につきましても、6名の方がそう思わないとお答えになっておられます。幼児の生活の中にも、たくさんの決まりやルールが存在します。そして集団生活や社会生活において、「善悪の判断」や「ルールを守ること」はとても大切なことです。しかし、それがなぜ大切なのか？なぜ必要があるのか？決まりに従うだけではなく、時には自分たちが過ごしやすいようにルールを考えたり決めたりしながら、その大切さや必要性を感じて守れるようにしていきたいと思っております。また、「良いこと・悪いこと」についても同じく、子どもの葛藤やつまずきや、決まりや約束を守れなかった時の経験を保育教諭と共に考えながら、規範意識の芽生えを育てていきたいと思えます。

【保護者の方は】の項目について

主に子育てに関する問いの⑦～⑫までに対しては、98%の肯定的なご意見がございました。特に③の『子どもと触れ合う時間を大切にしている』の問いには、100%の肯定的な回答があり、皆様日々お忙しい生活の中、お子様との時間を大切に、愛情をもって子育てされていることの表れではないかと感じております。

また子育ての協力者がいる方、そうでない方がおられるようです。日々お忙しい中、相談相手や協力者がおられないことは、大変心細いことと思います。皆様に「子育ては楽しい」と感じていただけるような子育て支援の場として、園がお役に立てるよう身近な存在でありたいと思っておりますので、どうぞどのようなことでもお声掛けください。

また⑩の問いでは基本的な生活習慣や健康について伺っておりますが、こちらにつきましては、皆様が肯定的なお答えとなっております。ご家庭においても、健康的な生活を心掛けておられることがわかりました。これからも園とご家庭とが協力しながら、健康的な生活や、一人一人の育ちに応じた生活習慣の自立に努めてまいります。

⑬のPTA活動や保護者会への協力については、昨年度に増してご意見がますます多様化してまいりました。しかし、⑭の『こども園の教育活動に協力し、一緒に子育てをしようとしている』という問いに対しては、ほぼ皆様が肯定的なご意見をいただいたのは嬉しいことです。現在のPTA役員の皆様も、無理のない範囲で活動されています。これからも『PTA活動』という名前や形にはとらわれず、子どもたちのために皆様と力を合わせてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【こども園は】の項目について

肯定的な答えの平均は98%となりましたが、「ややそう思う」という項目に注目してみると、⑰の『教育方針や子どもの様子をわかりやすく伝えている』や⑳の『学級懇談・個人懇談の内容は有意義である』続いて、㉑の『園行事や保育活動を工夫して行っている』につきましては、他の項目より割合が多いようです。これらにつきましては、園の教育・保育・行事などの取り組みや、そのねらいを、今後も皆様に伝えながら、よりご理解いただけるように努めてまいりたいと思います。

㉒の『あいさつや身の回りの始末など、基本的な生活習慣が身につくような指導を行っている』こちらの結果は、【保護者の方は】の⑫の結果と結びついてくるように思います。これからもご家庭と共に、園も一層努力していきたいと思っております。

㉓『飼育・栽培などを通して自然に親しめる環境を整えている』においては、良い評価をいただきました。今年度は、芋苗から芋ほり、そしてお芋パーティーと、子どもたちが楽しめたことが、皆様にもご理解いただいた結果と存じます。今後も園の自然に親しみ、植物や生き物を試行錯誤しながら大切に育てる経験や実体験ができるよう環境を整えてまいりたいと思っております。

【本園を希望された理由】の項目について

たくさんのご回答をいただきありがとうございます。希望された順は、『環境が良い』、続いて『保育内容が良い』という結果となりました。広い園庭や自然に囲まれた本園ならではの環境の中、伸び伸びと遊ぶ子どもたちの姿から、皆様が幼児期の『遊び』の大切さを理解してくださっている結果と考えます。

以下、『教師の質が高い』『自宅から近い』『地域や小学校との交流がある』『徴収される費用等が安い』となりました。今年度は、5歳児さんが三箇牧小学校の2年生と『探究活動』をきっかけに、互いに親しみを持ち、たくさん交流をさせていただきました。これは、小学校と同じ敷地内にある本園ならではの取り組みでもあります。これからも校区の小学校と連携を取りながら、小学校を身近に感じながら就学に期待をもてるよう、共に子どもたちの育ちを見守ってまいりたいと思っております。

また、本園の特徴としていろいろな地域からステーション保育でバス通園されている方が20名おられます。なかなか顔を合わす機会がない保護者の皆様にも、お子様の姿や保育内容を伝える方法を今後も模索していきたいと考えます。

これからも子どもたちや皆様が「この園を選んでよかった」「楽しい園生活を送れている」と思えるように、日々環境を通した保育の中で、子どもたちが伸び伸びと豊かな経験を積み重ね、生きる力を育ていけるよう、職員一丸となって、資質向上や保育内容の充実を図ってまいります。

今回の教育アンケートの結果を令和8年2月に園評議員の皆様にお示ししました。
結果と合わせ、皆様にご報告申し上げます。(ご意見は要約しております。ご了承ください。)

【三箇牧認定こども園の教育や保育内容・行事等、その他ご意見をお聞かせください】

【お子さんは】の結果について

全体的に肯定的な評価であることから、園の教育・保育が保護者にご理解いただけている結果であると理解し、感心しています。まずは、①『こども園に行くことを楽しんでいる』に100%の肯定的な回答があることが何より嬉しいことです。

⑤や⑥『して良いこと・悪いことを考えて行動しようとするようになってきた』や『約束を守って遊ぼうとするようになってきた』について「あまり思わない」という方が共に12%おられることが気になります。約束を守る・時間を守る等、子どもであれ大人であれ、とても大切なことなので、社会に出ることも見据えて、幼いころから大切にしたいものです。

【保護者の方は】の結果について

ほとんどの方が子育ては楽しいと思っておられる中、『子育てが楽しい』とあまり思えない方がお一人、『子育ての相談相手(協力者)がいない』方がお二人いらっしゃる事が気になります。様々なご家庭がある中、そのような方をどう支えていくかが課題ですね。

⑬『PTA 活動や保護者会に協力したいと思っている』については、「あまり思わない」「思わない」を合わせると39%であること。しかし、⑭『こども園の教育活動に協力し、一緒に子育てしようとしている』では、肯定的なご回答が98%であること。この2項目の評価が大きく違います。PTA活動も保護者会も、教育活動に協力するものであるのに、評価の違いに戸惑います。

【こども園は】の結果について

全ての項目が良い評価であり、こども園の取組が評価されていることが見て取れます。昨年度は『話したり聞いたりする意欲や態度を育てることに努めている』についてあまり思わない方が8%であったことが気になっていましたが、そこが改善されて良かったです。

【その他】の結果について

本園を希望された理由として、複数回答ながら『保育内容が良い』『環境が良い』が50%を超えているのに比べ、『教師の質が高い』は33%となっています。先生方がいつも笑顔で優しく子ども達に寄り添われている姿に感心しています。先生方の頑張っている姿をもっと発信してはどうでしょうか。

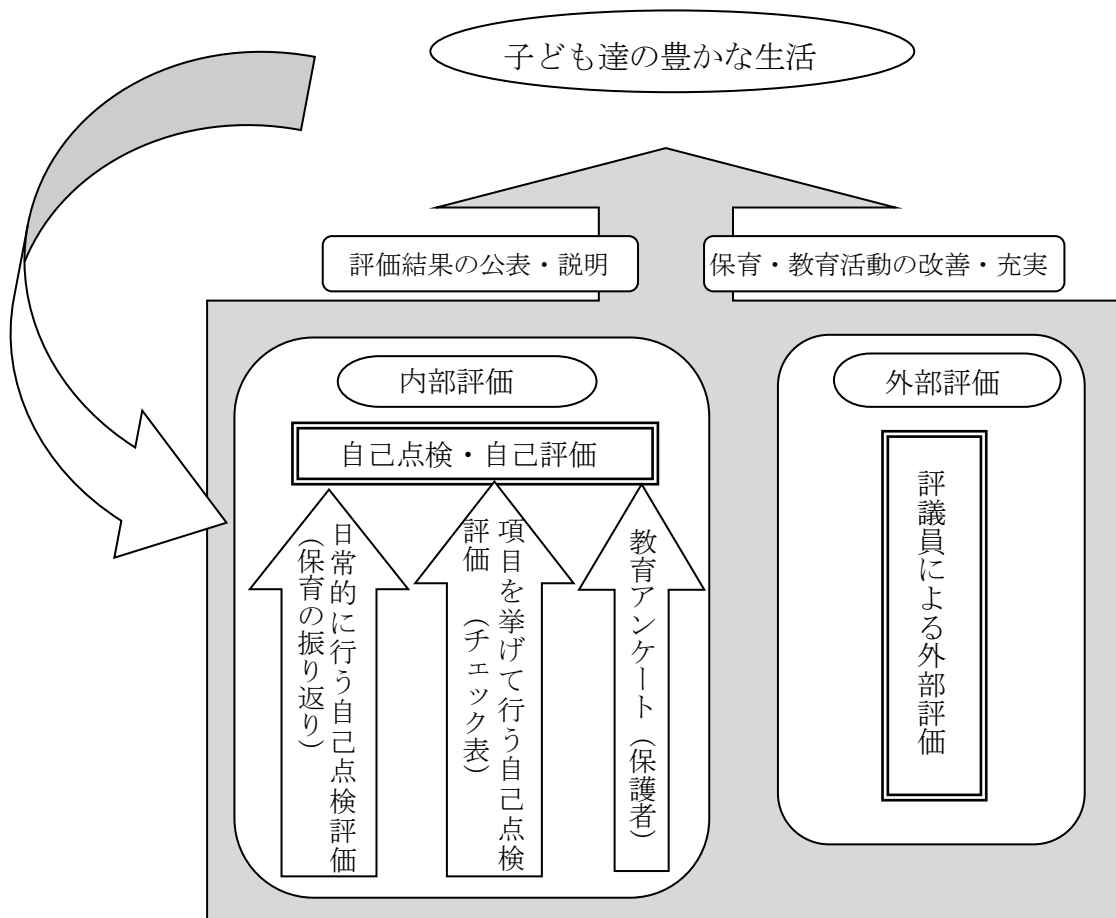
これからも園と園児たちの育ちを応援しています。

評議員の皆様から、大変貴重なご意見をいただきました。ご意見からも、評議員の皆様が子どもの姿や保護者の声、こども園の教育に深いご理解をいただき、温かい見守りと共にいつも応援してくださっていることを改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

これからも保護者の皆様、評議員の皆様のご意見をしっかりと受け止め、一人一人の子どもたちにとって三箇牧認定こども園が楽しく安心安全の場となり、豊かな経験を重ねながら生きる力の大きな根っこを育めるよう、職員一同更なる保育の充実に向けてまいります。

どうぞ引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

< 三箇牧認定こども園の評価システム >



- *「子ども達の豊かな生活」を保障するために、こども園では上図のようなシステムで外部評価と内部評価を合わせて教育活動の改善・充実を目指しています。
- *内部評価には、教育アンケートなどの保護者の方からの評価や、教師自身の自己点検評価などで園全体を見直すために活用してまいります。
- *評議員による外部評価とは、園長と園評議委員の皆様で評議員会を開催し、年間行事や、子どもの日常の様子などを評価していただいています。
- *内部評価と外部評価、双方の分析・改善を行い、次年度の園目標や細やかな指導体制につなげていきます。

評議員は、学校やこども園が保護者や地域住民等の信頼に応え、協力を得るとともに、説明責任を果たし、地域に開かれた特色ある学校・こども園づくりをより一層推進していくため、園や地域の実情に応じて、PTA、地域団体、青少年育成団体、関係機関などの関係者をはじめ、教育に関する理解及び識見を有する者の内から、置くものとしています。

令和7年度 園評議員の皆様
 高槻市立三箇牧小学校 校長
 三箇牧公民館 館長
 元高槻市立幼稚園 園長

